

大規模災害時における災害公営住宅等の円滑な供給方策の調査検討

今後「首都直下地震」や「南海トラフ地震」等大規模な被害をもたらす災害の発生が想定される。

発注者 国土交通省住宅局

工期 2015年

このため、本業務では、過去の大規模災害において供給されてきた「災害公営住宅等」について、これまでの取組状況を把握・整理し、被災地における取組、課題等、今後の災害公営住宅の供給に向けて留意すべき点等を体系的にとりまとめた。

具体的な検討作業は次のとおりである。

1) 大規模災害時における災害公営住宅等の供給の取組についての調査・整理

- ・10の災害事例を対象に、各災害の特徴や被災地の地勢的特徴を踏まえ類型化した上で、各災害事例における災害公営住宅の供給・整備・管理プロセスを整理。
- ・計画段階、整備段階、管理段階毎の、主要検討事項に係る取組事例を収集・整理。

2) 今後の大規模災害時における災害公営住宅供給の円滑な供給に向けた検討

- ・1)の調査・整理を踏まえた、今後の大規模災害時の災害公営住宅供給に係る主要検討事項毎の取組事項、留意点、関連する事例等を整理。
- ・供給の各段階における検討の流れや平常時から準備を要する事項等を整理。